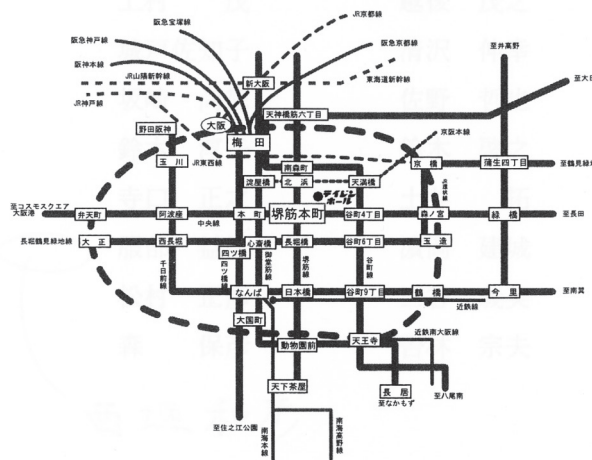


第41回 近畿川崎病研究会

日 時：2017年3月4日(土)
12:55～18:10

会 場：テイジンホール
大阪市中央区南本町1丁目6番7号
TEL 06-6268-3131

テイジンホールご案内地図



地下鉄中央線・堺筋線の堺筋本町駅東口から専用道路がございます。(東側2号出口)

共 催 近畿川崎病研究会
帝人ファーマ株式会社

— 近畿川崎病研究会 —

第 41 回 会長

三宅 俊治

運営委員長

鈴木 啓之

運営委員

池田 和幸	小澤誠一郎	片山 博視	萱谷 太
城戸佐知子	小垣 滋豊	小林 奈歩	坂崎 尚徳
清水 達雄	白石 淳	鈴木 啓之	宗村 純平
津田 悦子	寺口 正之	土井 拓	中川 雅生
服部 益治	馬場 志郎	廣田 常夫	松村 正彦
丸谷 怜	三谷 義英	三宅 俊治	村上 洋介
山川 勝	吉澤 弘行	吉林 宗夫	吉村 健

特別顧問

川崎 富作

顧 問

尾内善四郎 北村惣一郎 横山 達郎

名誉会員

上村 茂	川島 康生	鈴木 淳子	森 忠三
清澤 伸幸	篠原 徹	濱岡 建城	

事務局 和歌山県立医科大学 小児科

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811 番地 1

TEL 073-441-0633

ホームページ <http://www.kinki-kawasaki.jp/>

E-mail kkjim1981@kinki-kawasaki.jp

—お知らせとお願い—

1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後 12 時 55 分です。
- (2) 参加費は 1,000 円です。
なお、本会に未加入の方はご入会のほどお願いいたします。
(年会費は 3,000 円です)
- (3) 本会の日本小児科学会認定医研修単位は、4 単位となっています。
- (4) 本会の日本小児循環器学会認定医研修単位は、8 単位となっています。

2. 演題発表について

- (1) ご講演は、PC プレゼンテーションのみとなります。タブレット PC, iPad などでの講演はできません。
- (2) 一般演題 発表 6 分・討論 4 分
- (3) ご発表予定時間の 1 時間前までに、USB メモリ（ご発表データのみを保存）をホール 1 階「データ受付」にお持ちいただき、受付をお済ませください。
- (4) ご発表内容が動画を含む場合は、必ずご自身の PC 本体でデータをご持参ください。
 - ・会場で用意するコネクタの形状は D-sub15 ピンのみです。
 - ・AC アダプターは必ずお持ちください。
- (5) ご発表データは、Windows、Machintosh ともに Power Point で作成されたものをご用意ください。
- (6) 使用 OS（データ作成時）は以下のもので作成ください。
 - Windows : X P、Vista、Win-7、Win-8、Win-10
 - Machintosh : O S X
- (7) アプリケーションソフトは、以下のものをご用意いたします。
 - Windows : PowerPoint 2003、2007、2010、2013、2016 に対応
 - Machintosh : PowerPoint 2004、2008、2011 に対応
- (8) フォントは標準搭載されているものをご使用ください。
- (9) ファイル名は、プログラム No と演者のお名前を入れて作成ください。
例) 演題 No14、近畿太郎先生の場合 ファイル名 : 14 近畿.ppt
- (10) 講演終了後、舞台袖において、お預かりした USB メモリおよび PC 本体をご返却いたします。
- (11) 講演内容は、Progress in Medicine 7 月号（ライフ・サイエンス）に記録として掲載いたします。

※ 後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡いたします。

【執筆要領】 400 字原稿用紙で 12 枚以内（図表は別）

【原稿〆切】 2017 年 5 月 12 日（予定）

【問合せ先】 株式会社ライフ・サイエンス 奥畑 現

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山

Tel 03-3407-8963

【開会の挨拶】

12:55 ～ 13:00

第 41 回会長 三宅俊治（近畿大学医学部奈良病院）

【セッション I】

13:00 ～ 13:40

座長 丸谷 怜（近畿大学医学部 小児科）

1. 3rd-line 治療後も微熱が遷延し、炎症性疾患の鑑別が必要であった
難治性川崎病の一例

大阪医科大学附属病院 小児科

蘆田温子 片山博視 謝花幸祐 小田中豊 松村英樹
尾崎智康 岸 勘太 玉井 浩

大阪府済生会吹田病院 小児科

金川奈央

2. 全身型若年性特発性関節炎との鑑別に苦慮した心タンポナーデ併発
川崎病の 1 例

京都府立医科大学 小児科

池田和幸 森下祐馬 竹下直樹 八幡倫代 鈴木千夏
河井容子 奥村謙一 秋岡親司 細井 創

京都第二赤十字病院 小児科

小林奈歩 清澤伸幸

宇治徳洲会病院 小児循環器・川崎病センター

濱岡建城

3. 肺炎症状＋発疹のみで冠動脈瘤をきたした不全型川崎病の 4 か月の
男児例

松山市民病院 小児科

宮本真知子 小西恭子

愛媛県立中央病院 小児科

山本英一 中野威史 高橋由博 石田也寸志

愛媛大学医学部 小児科

檜垣高史 石井榮一

4. 経過中に治療抵抗性との鑑別に苦慮した、NSAIDs による
薬剤アレルギーを呈した川崎病 1 症例

香川県立中央病院 小児科

岡本吉生 住友裕美 小林光郎 森田啓督 佐藤 潤
伊藤 滋

【セッションⅡ】 13:40 ～ 14:30

座長 白石 淳（京都第一赤十字病院 心臓センター 循環器内科）

5. 植込み型補助人工心臓装着で心臓移植待機中の川崎病後虚血性心筋症
の 1 例

大阪大学大学院医学系研究科 小児科学

鳥越史子 小垣滋豊 廣瀬将樹 髭野亮太 石井 良
石田秀和 成田 淳 大菌恵一

6. 川崎病遠隔期に血栓閉塞した左主幹部冠動脈瘤の瘤感染を来たし破裂
した 8 歳男児例

国立循環器病研究センター 小児循環器科

羽山陽介 津田悦子 豊島由佳 則武加奈恵

7. 成人期に左主幹部冠動脈瘤の拡大進行を認めた右冠動脈閉塞の 1 例

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児循環器内科

稲熊洸太郎 坂崎尚徳 豊田直樹 石原温子 鷄内伸二

兵庫県立尼崎総合医療センター 心臓血管外科

加藤おと姫 村山友梨 渡辺謙太郎 植野 剛 吉澤康祐
岡田達治 大野暢久 藤原慶一

8. 当院で追跡中の川崎病巨大冠動脈瘤患者の経過報告

近畿大学医学部 小児科学教室

草野信義 丸谷 怜 篠原 徹 竹村 司

9. 近畿地区で行った川崎病瘤例の再検討

京都第二赤十字病院 小児科
清澤伸幸 小林奈歩

【特別講演Ⅰ】 14:30 ～ 15:20

座長 津田悦子（国立循環器病研究センター 小児循環器科）

「川崎病急性期の冠動脈瘤発生の機序と遠隔期における 巨大瘤の問題点」

日本医科大学付属病院 小児科 准教授 深澤隆治 先生

コーヒーブレイク 15:20 ～ 15:35

事務局報告 15:35 ～ 15:40

運営委員長 鈴木啓之（和歌山県立医科大学 小児科）

荻野廣太郎先生を偲ぶ 15:40 ～ 15:50

【セッションⅢ】 15:50 ～ 16:30

座長 坂崎尚徳（兵庫県立尼崎総合医療センター 小児循環器内科）

10. 急性期に二方向性心室性不整脈を認めた川崎病の1例

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科
宮越千智 青田千恵 根津麻里 伊藤 環 田中裕也
鶴田 悟 山川 勝

11. 川崎病に対するステロイド初期併用療法例における非持続性心室頻拍について

近畿大学医学部奈良病院 小児科

井上智弘 三宅俊治 伊豆亜加音 永田知裕 一木美穂
近藤宏樹 虫明聡太郎

12. 川崎病診断基準を満たした 35 歳男性の 1 例

和歌山県立医科大学 小児科

末永智浩 立花伸也 垣本信幸 武内 崇 鈴木啓之

和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科

村上大地 杉田 玄 保富宗城

紀南病院 小児科

渋谷昌一

橋本市民病院 小児科

竹腰信人

13. 川崎病における胸部レントゲン撮影の意義

広島市立広島市民病院 循環器小児科

石口由希子 鎌田政博 中川直美 森藤祐次 松本祥美

【セッションⅣ】

16:30 ～ 17:10

座長 小林奈歩（京都第二赤十字病院 小児科）

14. 関節炎及び冠動脈瘤形成を認めカテーテル治療を行った川崎病の一例

天理よろづ相談所病院 総合診療科

豊田文興

天理よろづ相談所病院 小児科

吉村真一郎 樋垣 諒 斎藤 瞬 三木直樹 土井 拓
南部光彦

15. 初期プレドニゾン併用超大量 γ グロブリン療法にも関わらず巨大冠動脈瘤を形成したハイリスク川崎病の2例：三重県での初期経験

三重大学 小児科

栗原康輔 大橋啓之 淀谷典子 澤田博文 早川豪俊
三谷義英 平山雅浩

三重県立総合医療センター 小児科

杉山謙二

松坂中央総合病院 小児科

神谷敏也

16. 免疫グロブリン不応ハイリスク症例に対するウリナスタチン初期併用療法について

和泉市立病院 小児科

坂東賢二 富田和慶 岩本裕敬 澤田 智 村上城子

17. 当院の IVIG 不応例に対する段階的治療戦略の現状と今後の課題
ー血漿交換施行 104 例を含む 3rd Line 以降の治療を要した症例での検討ー

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科

高原賢守 河内晋平 山上雄司 加藤隆弘 菅 健敬

【特別講演Ⅱ】

17:10 ～ 18:00

座長 三宅俊治（近畿大学医学部奈良病院 小児科）

「川崎病治療における生物学的製剤の位置づけ」

東京医科歯科大学大学院 生涯免疫難病学講座 教授 森 雅亮 先生

【閉会の挨拶】

18:00 ～ 18:10

第 41 回会長 三宅俊治（近畿大学医学部奈良病院 小児科）

第 42 回会長 白石 淳（京都第一赤十字病院 心臓センター 循環器内科）

帝人ファーマ株式会社

1. 名称

近畿川崎病研究会(The Society of Kinki Area Kawasaki Disease Research)と称す。

2. 目的

川崎病の病因、病態、病理、治療及び管理等について、基礎及び臨床の両面から研究するとともに、学術集会を開催し、医学の発展に寄与する。

3. 事業

- 1) 上記の目的を達成するために運営委員会を組織し、学術集会を年 1 回開催する(原則 3 月第 1 週土曜日開催とする)。その内容は、広く公表することを原則とする。
- 2) 学術集会は参加費を徴収し、その運営に充てる。

4. 運営委員会

- 1) 本会に次の役員を置く。
 - ①運営委員長 1 名
 - ②運営委員 若干名
 - ③会計 1 名
 - ④監事 1 名
 - ⑤名誉会員
 - ⑥顧問
 - ⑦特別顧問
- 2) 運営委員及び運営委員長は、運営委員会が推薦、選出する。
- 3) 運営委員長は、本会を統括し、その任期は 3 年とする。なお、再任を妨げない。
- 4) 運営委員は年齢の上限を満 65 歳とし、満 65 歳に達した年度末(3 月)をもって退任とする。
- 5) 年会費を 3 年間滞納した場合は、継続の意思がないとみなし退任とする。運営委員会・研究会に 3 年連続欠席の場合は、継続の意思の確認をもって退任とする。
- 6) 運営委員会は、学術集会を主宰するための会長の選出を行う。会長の任期は 1 年とする。
- 7) 運営委員会は、会長を補佐し、学術集会の企画、運営及び記録集の発行等を行う。また、本会運営に関する重要な事項を審議する。
- 8) 会計及び監事は運営委員の中から推薦、選出し、任期を 3 年とする。
- 9) 会計は運営委員会において前年度の会計報告を行う。
- 10) 監事は本会の会計及び資産を監査する。
- 11) 名誉会員は運営委員長が運営委員会に諮り推薦される。名誉会員は原則満 65 歳以上の運営委員を退任した者を対象とし、本会に特に貢献のあった者とする。
- 12) 顧問は運営委員長が運営委員会に諮り名誉会員の中から会の運営上必要と認めた者とし、運営委員会に出席できる。
- 13) 川崎病に関して広い知見をもつものを特別顧問としておく。特別顧問は、本会の運営等について助言をすることができ、任命は、運営委員長が運営委員会に諮り行うこととする。

5. 会員

- 1) 本会に入会希望する者は氏名、住所、所属を明記し、本会事務局に申し込む。
- 2) 退会しようとする者はその旨を本会に通知する。また、年会費を 3 年間滞納したときは退会したものとみなす。

6. 学術集会の発表者の制限

学術集会で発表できる者は本会の会員に限定する。特別講演など当番会長が承認した場合はこの限りではない。

7. 会計

- 1) 本会の会計は年会費、参加費及びその他の収入をもって充て、会計年度は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。
- 2) 年会費は 3,000 円/人、参加費は 1,000 円/人とする。
- 3) 名誉会員、顧問および特別顧問は年会費を要しない。

8. 会則の変更

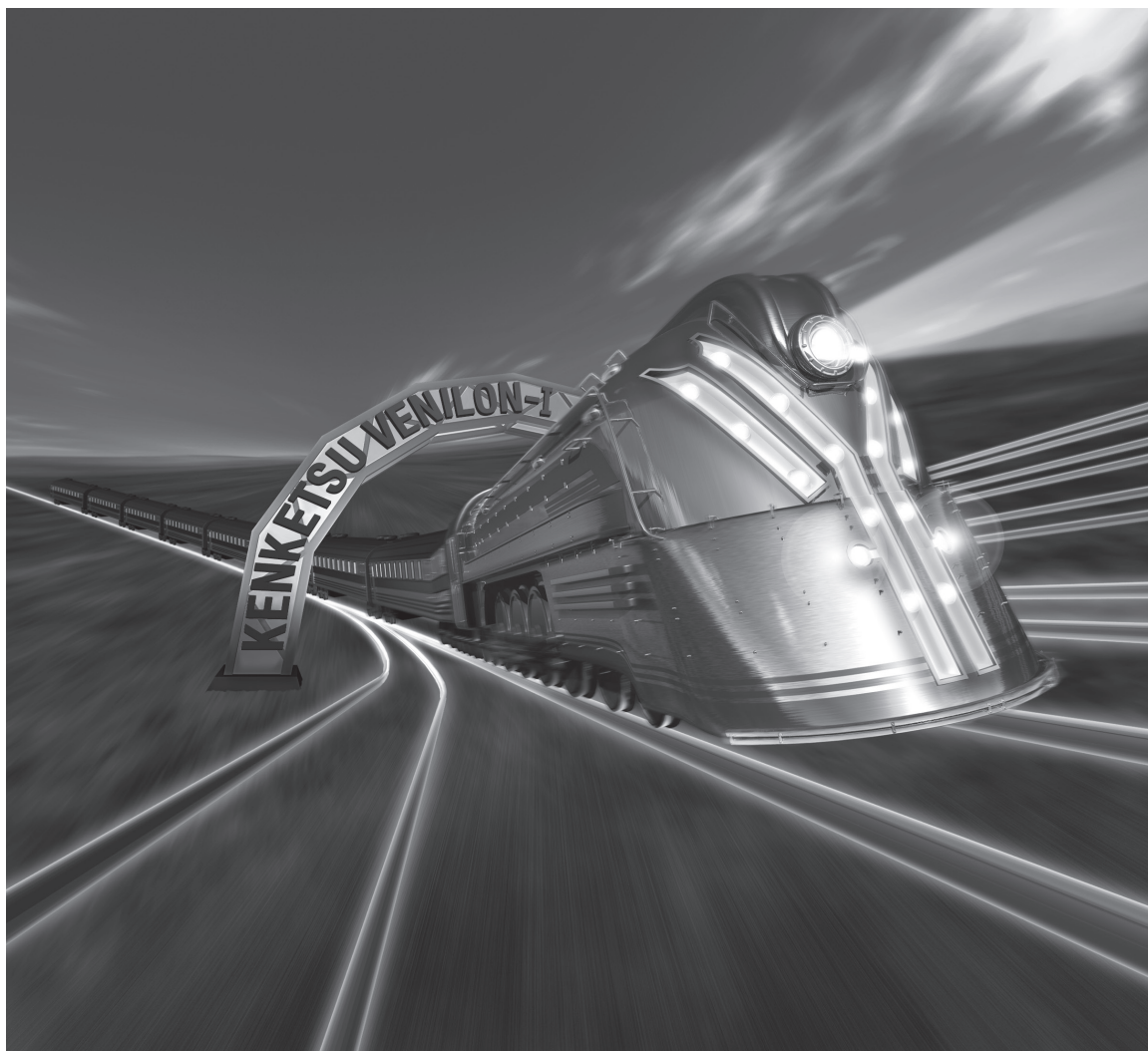
本会則は、運営委員会の議決を経て変更することができる。

9. 事務局

本会の事務局は運営委員長の所属施設に置くものとする。

和歌山県立医科大学 小児科

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811 番地 1



血漿分画製剤 特定生物由来製品 処方箋医薬品^注

献血 静注用人免疫グロブリン製剤

献血ベニロン-I [®]

〈乾燥スルホ化人免疫グロブリン〉 薬価基準収載

生物学的製剤基準 注) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

静注用 500mg
静注用 1000mg
静注用 2500mg
静注用 5000mg

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

販売

TEIJIN 帝人ファーマ株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
資料請求先: メディカル情報部 ☎ 0120-189-315

製造販売

化血研 一般財団法人 化学及血清療法研究所
〒860-8568 熊本県北区大津一丁目6番1号
資料請求先: 一般財団法人 化学及血清療法研究所

VEN905-MP-1602-2
2016年2月改訂